

日事 知る あの

徳島県知事

飯泉 嘉門



◎「挙県一致」対策協議会」開催

七月三十一日(金)

「百年に一度の経済危機」から徳島が一番に脱出するとの強い想いで、行政はもとより、経済、労働、農林水産、福祉医療、教育に至る県内各分野の代表者による「徳島県経済雇用」挙県一致「対策協議会」を今年一月に設立、貴重なご意見・ご提言をいただいているところ。

今日は、本県経済回復の「起爆剤」と期待される「『関西広域連合(仮称)』への参加について」議論を行った。

関西広域連合は、防災や医療、観光など広域的課題に行政と経済界が一体となって取り組む地方発の「実践モデル」。また、地方分権改革の

「突破口」ともなる全国初の取組み。このため、新たに委員に環境、観光の分野、さらには「関西広域連合(仮称)調査特別委員会」を設置された県議会からも加わっていただいた。

まず、関西経済連合会の奥田専務から「宇野副会長(日本生命会長)を徳島担当とし、サポートさせていただく」との積極的な発言。委員の皆様からは、「広域連合での徳島のポジションを明確にす



関西広域連合

ること将来の姿が見えてくる」「更なる市場開拓、観光交流のチャンス」「幅広く議論できる場の設置」「メリット・デメリットを県民に分かる形に」など期待や激励、今後の進め方に対するご意見、ご提言が続々と！

会議の結びに、「徳島飛躍」挙県一致「対策協議会」に名称を改めるとともに、関西広域連合への参画の在り方、周知方法を検討するWGの設置が決定された。

関西広域連合への参加は、「将来の徳島県の飛躍・発展」にとって極めて重要な取組み、新たな協議会を「推進母体」として、このチャンスを見逃さず、徳島が関西をリードする気概を持って関西広域連合への参加の取組みを加速していきます。

◎激突！サッカー「四国ダービー」

八月一日(土)

四国をホームタウンとする我らが「徳島ヴォルティス」と「愛媛FC」。地域の誇りをかけた熱い戦い「四国ダービー」が、八月一日(土)鳴門市「ポカリスエットスタジアム」でキックオフ！

二〇〇一年のJFL時代から始まった「四国ダービー」、数々のド

四国ダービー



ラマチックな試合展開でお互い切磋琢磨。通算成績は徳島が九勝四分け六敗とリード。昨年から「四国制覇」と刺繍された「四国ダービー・ウィナーズ・フラッグ」争奪戦もスタート！

当日は、あいにくの天候にもかかわらず、「ウィナーズ・フラッグは絶対渡さない！」との意気込みで、スタジアムを徳島ブルー（愛媛はオレンジ）に染めた観客数は、過去最多となる一万三千四百七十三人。この日デビューしたクラブマスコット

の「ヴォルタくん」と「ティスちゃん」も熱い声援。

さて、試合の方は、前半二十七分ヴォルティス柿谷のスルーパスを受けた羽地が左足で決めて先制。愛媛が退場者を相次いで出し数的優位に立つと、ロスタイムに徳重の左コーナーキックにペ・スンジンがダイレクトで合わせて二点目。後半も攻撃の手を緩めず藤田、羽地、登尾、青山が得点、終わってみれば「クラブレコード」となる六得点。J2参入後初の四国ダービー三連勝を飾り、フラッグを手に勝利をサポーターはじめ大観衆にアピール。

地域に根ざし、県民から愛されて強くなる「徳島ヴォルティス」。今シーズンの通算成績は、十三勝十分八敗（勝点四十九）で八位。残り二十試合、この勢いで勝利を重ね「J1昇格」への礎をしっかりと築いてもらいたいもの。

四国ダービー三連勝、そして県民挙げての悲願である「J1昇格」を祈念し、我らが「徳島ヴォルティス」に乾杯！

◎「阿波おどり」開幕！

八月十二日(水)

待ちに待った「阿波おどり」が開

幕！

この日を待ち焦がれた天水（踊り子）たちが、勢いよく演舞場に飛び出しはじける、豪快な「男踊り」に優美な「女踊り」、そして心浮き立つ「ぞめき」のリズムに情緒あふれる「よしこの」で、観る者すべてを魅了！街を踊り一色に染め上げた。

今年三月の高速道路料金の引き下げに続き、夏休みスタートの七月十八日から本県、和歌山県、南海フェリーの三者で、片道の料金（九千三百円）を千円に引き下げる社会実験を開始。「近いよ！徳島」のPR効果も加わり、ここ数年では過去最高となる百四十万人の人出が見込まれている。

私も県職員を中心とする「とくしま連」の連長として、「ヤットサー・ヤットサー」のかけ声とともに「踊る阿呆」となって、総勢約二百名の先頭を切って演舞場に踊り込んだ。特に今年は、九月二十八日から始まるNHK連続テレビ小説「ウエルカメ」のヒロイン倉科カナさん、その母親役の羽田美智子さん、ヒロイン憧れの編集長役の星野知子さんにも参加をいただき、ひととき華やかさが増大。

また、十月三日から開催される阿波人形浄瑠璃月間「ジョーロリ

阿波おどり



100公演」のコーディネーターを務める本県出身の文楽人形遣い吉田勘緑さんが操る「すだちくん浄瑠璃人形」を筆頭に、「青年座」や「とくしま座」の皆さんが、木偶の手足を巧に操り、棧敷席から盛大な拍手。

百年に一度の経済危機の最中、こんな時こそ、「阿波おどり」のエネルギーで暗いムードを吹き飛ばしたいもの！これからも「いけるよ！徳島」踏ん張り中」を合い言葉に、県一致で徳島飛躍に向けて全力で頑張ります！